

2022年3月期第3四半期決算の概要

2022年2月9日
東レ株式会社

目次

I . 2022年3月期第3四半期決算の概要	3
II . 2022年3月期連結業績見通し	18
III . 参考資料	22

I . 2022年3月期第3四半期決算の概要

2022年3月期第3四半期連結損益概要

億円

	21年3月期 第3四半期 (10~12月)	22年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	5,081	5,839	+758 (+14.9%)	13,642	16,469	+2,827 (+20.7%)
事業利益	329	358	+29 (+8.9%)	670	1,060	+390 (+58.3%)
(売上収益事業利益率)	6.5%	6.1%	-0.3 ポイント	4.9%	6.4%	+1.5 ポイント
非経常項目	▲ 22	▲ 16	+6	▲ 308	▲ 28	+279
金融収益及び費用	▲ 0	10	+10	▲ 24	15	+39
持分法による投資利益	38	41	+4	91	159	+68
税引前利益	344	393	+49 (+14.1%)	429	1,205	+776(+181.0%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	234	284	+49 (+21.1%)	279	893	+614(+220.1%)

為替レート		(21/3 3Q)	(22/3 3Q)	(21/3 3Q累計)	(22/3 3Q累計)
<円/US\$>	期中平均	104.5	113.7	106.1	111.1
	期末	103.5	115.0		
<円/ユーロ>	期中平均	124.5	130.1	122.4	130.6
	期末	127.0	130.5		

非經常項目

億円

	21年3月期 第3四半期 (10~12月)	22年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
固定資産売却益	1	3	+2	2	8	+6
固定資産処分損	▲ 12	▲ 19	-7	▲ 43	▲ 33	+10
減損損失	▲ 10	▲ 0	+10	▲ 267	▲ 3	+264
非經常項目	▲ 22	▲ 16	+6	▲ 308	▲ 28	+279

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	21年3月末	21年12月末	増減
資産合計	28,488	29,631	+1,142
流動資産	11,810	13,340	+1,530
有形固定資産	9,984	9,660	-324
その他	6,694	6,631	-64
負債合計	15,266	15,280	+14
流動負債	6,814	7,418	+604
非流動負債	8,452	7,862	-590
資本合計	13,223	14,351	+1,128
自己資本*	12,379	13,446	+1,068
自己資本比率*	43.5%	45.4%	+1.9ポイント
有利子負債残高	9,739	9,413	-327
D/Eレシオ	0.79	0.70	-0.09

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,246	615	-631
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 721	▲ 300	+420
フリー・キャッシュ・フロー	525	315	-211

* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

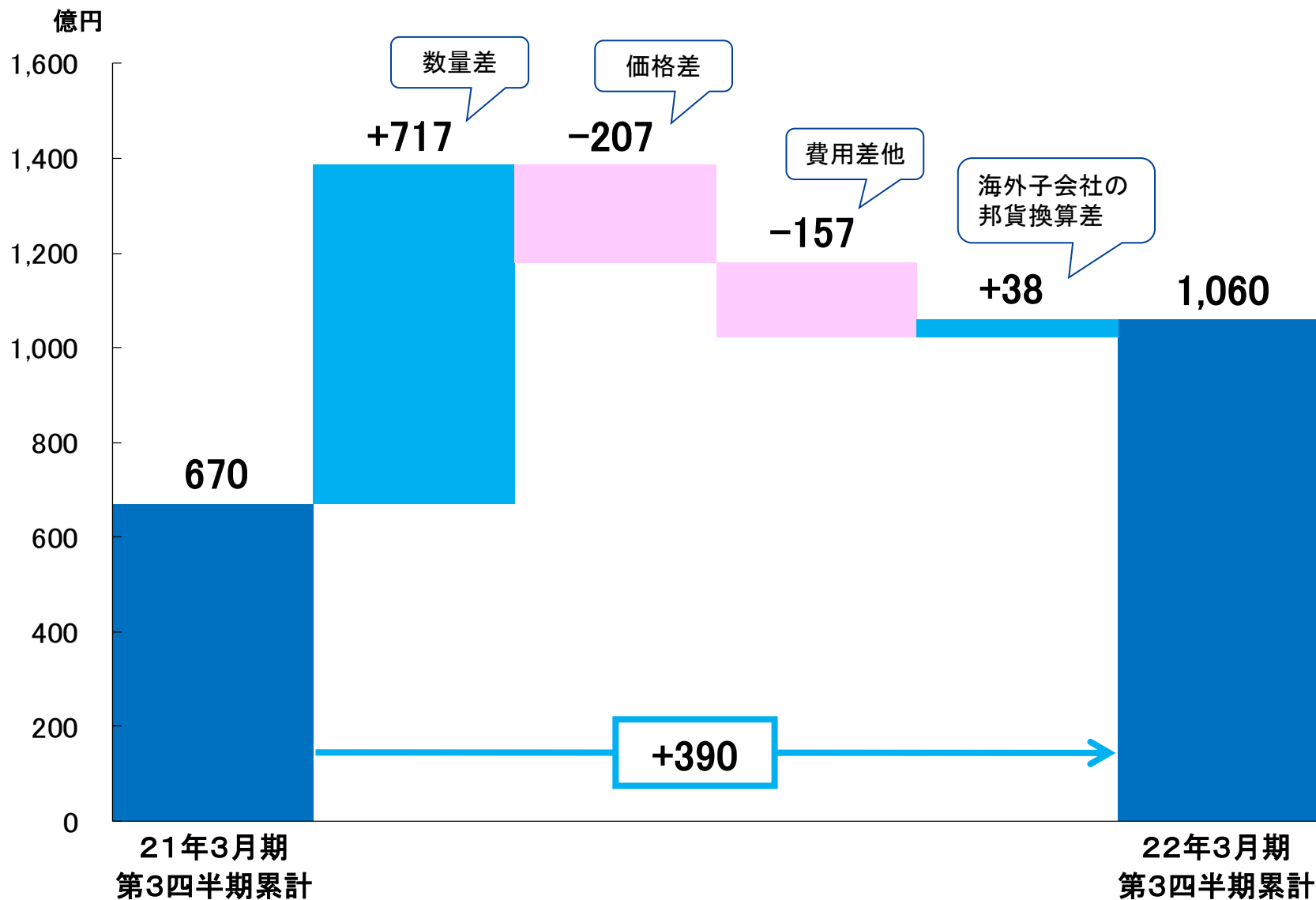
億円

	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
設備投資額	938	663	-275
東レ	213	163	-50
連結子会社	725	501	-225
減価償却費	887	923	+36
東レ	291	293	+2
連結子会社	596	630	+34
研究開発費	449	441	-7
東レ	334	325	-10
連結子会社	114	117	+2

主な設備投資案件

東レ株式会社	: ポリプロピレンフィルム生産設備
Toray Membrane (Foshan) Co., Ltd.	: RO膜生産設備
Zoltek Zrt.	: 炭素繊維生産設備

事業利益増減要因分析



セグメント別売上収益・事業利益

億円

		21年3月期 第3四半期 (10~12月)	22年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	繊維	2,061	2,301	+240 (+11.6%)	5,363	6,316	+953 (+17.8%)
	機能化成品	1,926	2,336	+411 (+21.3%)	5,199	6,781	+1,582 (+30.4%)
	炭素繊維複合材料	456	542	+86 (+18.9%)	1,349	1,532	+182 (+13.5%)
	環境・エンジニアリング	464	487	+23 (+5.0%)	1,246	1,346	+100 (+8.0%)
	ライフサイエンス	137	135	-2 (-1.8%)	384	386	+2 (+0.5%)
	その他	37	38	+0 (+0.8%)	100	108	+7 (+7.4%)
	合計	5,081	5,839	+758 (+14.9%)	13,642	16,469	+2,827 (+20.7%)
事業利益	繊維	122	111	-10 (-8.4%)	280	355	+75 (+26.8%)
	機能化成品	236	224	-12 (-5.2%)	476	746	+270 (+56.6%)
	炭素繊維複合材料	▲ 34	17	+52 (-)	▲ 37	▲ 19	+18 (-)
	環境・エンジニアリング	40	48	+8 (+19.5%)	80	109	+29 (+36.2%)
	ライフサイエンス	9	5	-5 (-48.6%)	18	16	-2 (-9.8%)
	その他	12	8	-4 (-35.9%)	17	15	-3 (-14.3%)
	調整額	▲ 56	▲ 55	+1	▲ 164	▲ 162	+3
	合計	329	358	+29 (+8.9%)	670	1,060	+390 (+58.3%)

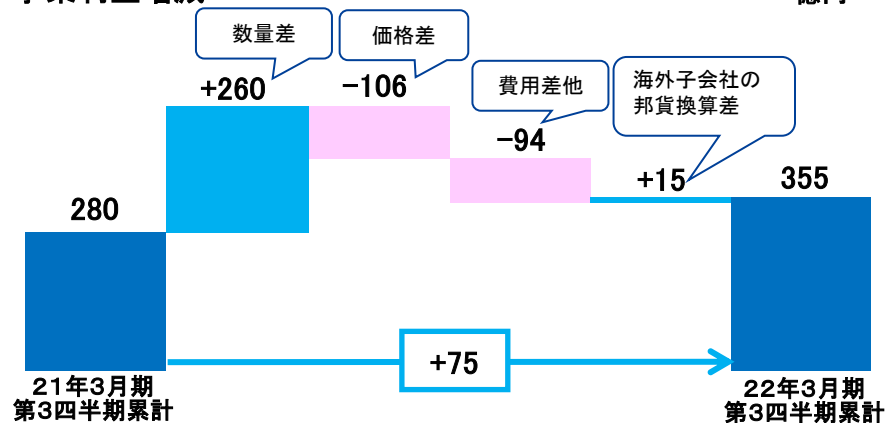
セグメント別業績(繊維)

億円

		21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	1,065	1,300	+235 (+22.1%)
	国内	2,998	3,246	+248 (+8.3%)
	海外	3,195	4,105	+910 (+28.5%)
	修正	▲ 1,894	▲ 2,335	-441
	計	5,363	6,316	+953 (+17.8%)
事業利益	東レ	26	89	+63(+236.6%)
	国内	73	83	+9 (+12.6%)
	海外	172	199	+26 (+15.3%)
	修正	7	▲ 16	-23
	計	280	355	+75 (+26.8%)

事業利益増減

億円



< 概況 >

■全般

国内外ともに需要の回復が見られた。

■衣料用途

引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた用途があるものの、スポーツ・アウトドア用途が好調に推移。

■産業用途

自動車減産の影響から、第3四半期に入って自動車関連用途の数量が減少。

<トピックス>

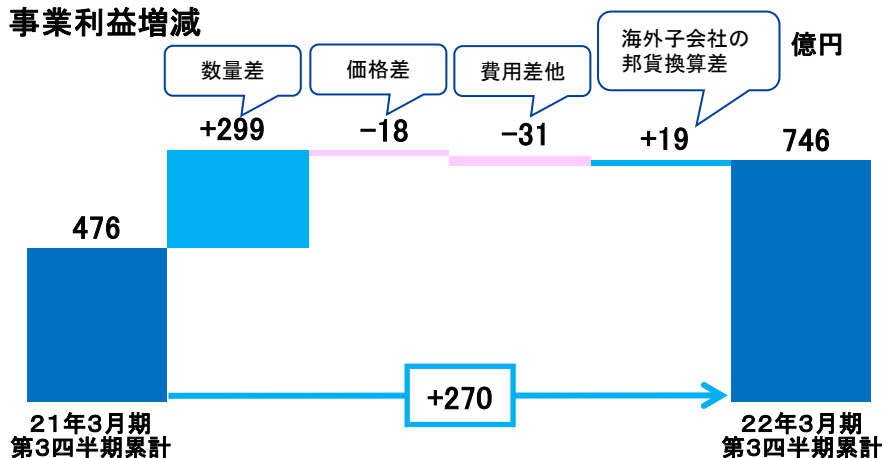
・ 21年11月:
複合紡糸技術NANODESIGN®(ナノデザイン)を駆使することで、髪やウールの構造をポリエステル繊維で再構築し、さらっとしなやかな質感と機能性を併せ持つポリエステル長繊維テキスタイル「Qticle™(キューティクル)」を開発。2023年春夏シーズン向けからの販売を予定。2022年度に20万m、2025年度に50万mの販売を目指す。

セグメント別業績(機能化成品)

億円

		21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	1,545	1,944	+399 (+25.8%)
	国内	2,753	3,683	+931 (+33.8%)
	海外	3,407	4,572	+1,164 (+34.2%)
	修正	▲ 2,506	▲ 3,418	-912
	計	5,199	6,781	+1,582 (+30.4%)
事業利益	東レ	88	218	+130(+148.5%)
	国内	98	167	+69 (+70.9%)
	海外	295	359	+63 (+21.5%)
	修正	▲ 4	2	+6
	計	476	746	+270 (+56.6%)

事業利益増減



< 概況 >

■樹脂事業

コロナ禍の反動と自動車メーカーの稼働及び中国経済の回復から、総じて需要が好調に推移したが、第3四半期に入って自動車減産の影響を受けた。

■ケミカル事業

基礎原料の市況が回復した。

■フィルム事業

リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムにおいて、価格低下及び自動車減産等の影響を受けたが、ポリエステルフィルムで光学用途・電子部品関連が好調に推移。

■電子情報材料事業

有機EL関連の需要が増加。

<トピックス>

- ・ 21年10月：LG Chem, Ltd. (LG化学)との間で、Toray Industries Hungary Kft. (THU) に対してLG化学が新たに出資し、THUを存続会社としたバッテリーセパレータフィルムの合弁会社を設立することに合意。
- ・ 21年10月：粗大な突起由来の表面欠点が無く平滑性に優れた高い品位と、滑り性などのハンドリング性を両立したナノ微細突起ポリエステルフィルムを創出。
- ・ 21年12月：マイクロLEDディスプレイ向け材料を開発。東レエンジニアリング(株)の製造・検査装置との組み合わせによる、トータルソリューション提案で量産化に貢献。

機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

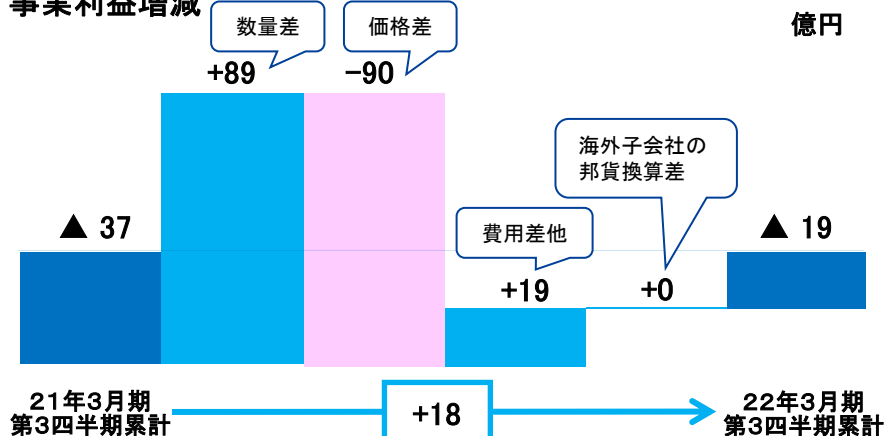
	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	2,188	28%	3,190	31%	+46%
フィルム	2,230	29%	2,504	25%	+12%
電子情報材料	498	6%	579	6%	+16%
商事他	2,790	36%	3,926	38%	+41%
修正	▲ 2,506	—	▲ 3,418	—	—
合計	5,199		6,781		+30%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

		21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	512	508	-4 (-0.7%)
	国内	348	393	+46 (+13.1%)
	海外	1,090	1,356	+266 (+24.4%)
	修正	▲ 600	▲ 726	-125
	計	1,349	1,532	+182 (+13.5%)
事業利益	東レ	▲ 22	7	+29 (-)
	国内	9	6	-3 (-29.8%)
	海外	▲ 16	▲ 3	+13 (-)
	修正	▲ 7	▲ 29	-21
	計	▲ 37	▲ 19	+18 (-)

事業利益増減



< 概況 >

■全般

原料価格上昇の影響、および航空宇宙用途で民間旅客機のビルドレートが減少した影響を受けたが、一般産業用途において風力発電翼用途が引き続き拡大したほか、スポーツ用途が好調に推移。また、価格転嫁を推進。

<トピックス>

- ・ 21年11月:
米国の子会社Zoltek Companies, Inc. (Zoltek) おいて、ラージトウ炭素繊維の生産設備増強を決定。Zoltekのメキシコ工場の生産能力を現行の年産1万3千トンから2万トンに増強する計画。2023年からの生産開始を予定。
- ・ 21年11月:
マテリアルズ・インフォマティクス技術を活用し、優れた難燃性と力学特性を持つ次世代の航空機用途向け炭素繊維強化プラスチック (Carbon Fiber Reinforced Plastics) を短期間で開発。

炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	484	36%	312	20%	-35%
スポーツ	109	8%	195	13%	+79%
一般産業	757	56%	1,025	67%	+35%
合計	1,349		1,532		+14%

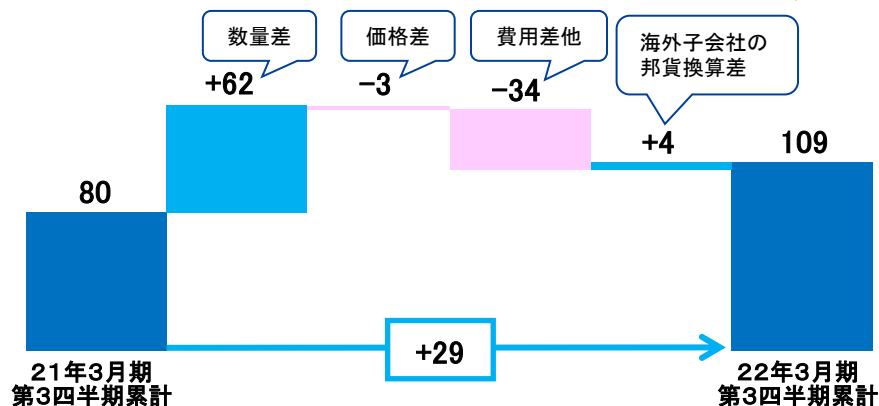
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	222	245	+23 (+10.2%)
	国内	1,464	1,395	-69 (-4.7%)
	海外	280	323	+43 (+15.2%)
	修正	▲ 721	▲ 617	+104
	計	1,246	1,346	+100 (+8.0%)
事業利益	東レ	12	10	-2 (-16.4%)
	国内	28	48	+20 (+73.0%)
	海外	44	53	+10 (+21.8%)
	修正	▲ 3	▲ 2	+1
	計	80	109	+29 (+36.2%)

事業利益増減

億円



< 概況 >

■水処理事業

一部地域で新型コロナウイルスの影響があったものの、逆浸透(RO)膜などの需要が堅調に推移。

■国内子会社

エンジニアリング子会社でエレクトロニクス関連装置の出荷が増加。

<トピックス>

・ 21年10月:
サウジアラビア王国のラービグ3海水淡水化プラント向けに、RO膜を受注。ラービグ3海水淡水化プラントは、60万m³/日の造水量を誇り、RO膜法としてはサウジアラビア王国で最大であり、世界でも上位に入る大規模プラント。

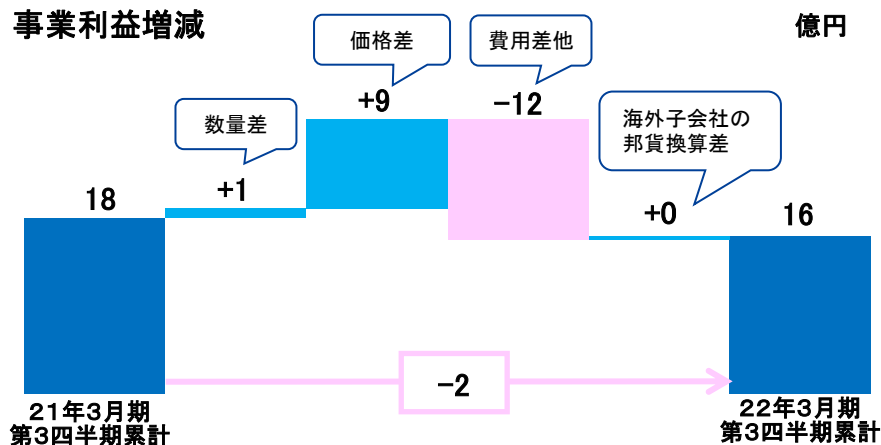
・ 21年11月:
食品飲料製造やバイオ分野において、精製・濃縮工程に用いる高耐久性の中空糸限外ろ過膜モジュールを開発し、お客様へのサンプル提供を開始。本モジュールにより、従来食品分野の濃縮に用いられている熱濃縮法と比較してCO₂排出量で8割以上削減となる省エネルギー化を実現。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

億円

		21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	177	173	-4 (-2.4%)
	国内	308	314	+6 (+1.8%)
	海外	100	97	-3 (-3.0%)
	修正	▲ 201	▲ 198	+3
	計	384	386	+2 (+0.5%)
事業利益	東レ	▲ 5	▲ 8	-4 (-)
	国内	18	20	+2 (+11.3%)
	海外	5	5	-1 (-9.9%)
	修正	▲ 1	▲ 0	+0
	計	18	16	-2 (-9.8%)

事業利益増減



< 概況 >

■ 医薬事業

経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、薬価改定の影響を受けた。

■ 医療機器事業

血液透析ろ過用のダイアライザーが国内で堅調に拡大したほか、新型コロナウイルス感染が一時的に落ち着いたことでその他の医療機器の需要も回復傾向となった。

*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。

< トピックス >

・ 21年10月:
東レとあすか製薬(株)が、東レとナノシート(株)が共同で開発中の癒着防止材「TRM-270C(東レ開発コード)」について、日本をテリトリーとした共同事業化契約を締結。

・ 21年11月:
国内初となるPMMA(ポリメチルメタクリレート)製の中空糸膜を用いた血液透析ろ過器「フィルトライザー®HDF」を開発。2021年12月より東レ・メディカル(株)を通して日本国内で販売を開始。

主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	21年3月期 第3累計四半期 (4~12月)	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レインターナショナル	3,751	4,333	+582	84	94	+10	
東レエンジニアリング	620	627	+7	6	22	+16	
東レ建設	282	282	-0	10	5	-4	
東レフィルム加工	270	290	+20	29	29	-0	
在東南アジア・子会社	繊維	699	947	+249	▲ 26	12	+38
	機能化成品	605	950	+345	119	167	+48
	その他	1	4	+3	0	0	+0
	計	1,304	1,902	+597	93	179	+86
在中国・子会社	繊維	1,573	1,875	+302	144	143	-0
	機能化成品	652	930	+278	35	57	+22
	その他	277	321	+44	26	30	+4
	計	2,502	3,126	+623	204	229	+25
在韩国・子会社	繊維	575	741	+167	67	36	-31
	機能化成品	1,081	1,170	+89	158	134	-25
	その他	160	258	+98	22	32	+10
	計	1,816	2,169	+353	247	201	-46

Ⅱ. 2022年3月期連結業績見通し

2022年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

内外経済は、新型コロナウイルスのワクチン普及や経済対策の進展を背景に回復を続けると見ているが、変異株の感染再拡大の影響や、原燃料価格の高騰、部材や人手等の不足による供給制約、物流混乱、そしてウクライナでの地政学的緊張等が懸念材料となっており、先行きは不透明感が増している。

億円

		21年3月期 実績	22年3月期 見通し	増減		前回見通し	前回見通し との差異*
売上収益	上期	8,561	10,630	+2,069	(+24.2%)	10,630	—
	下期	10,275	11,670	+1,395	(+13.6%)	11,570	+100
	通期	18,836	22,300	+3,464	(+18.4%)	22,200	+100
事業利益	上期	341	702	+361	(+105.8%)	702	—
	下期	562	598	+37	(+6.5%)	598	—
	通期	903	1,300	+397	(+44.0%)	1,300	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	45	609	+565	(—)	609	—
	下期	413	321	-93	(-22.4%)	321	—
	通期	458	930	+472	(+103.1%)	930	—
基本的1株当たり 当期利益	上期	2.79円	38.06円	為替レート的前提 (1月以降) 112円/US\$			
	下期	25.82円	20.04円				
	通期	28.61円	58.10円				
1株当たり配当金	上期	4.50円	8.00円	*前回見通しとの差異: 2021年11月9日公表値との差異			
	下期	4.50円	8.00円				
	通期	9.00円	16.00円				
配当性向	通期	31%	28%				

セグメント別連結業績見通し

		21年3月期実績			22年3月期見通し			増減			億円 前回見通しとの差異*
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
売上収益	繊維	3,302	3,890	7,192	4,015	4,355	8,370	+713	+465	+1,178	-50
	機能化成品	3,273	3,931	7,204	4,445	4,605	9,050	+1,172	+674	+1,846	+150
	炭素繊維複合材料	893	936	1,829	989	1,141	2,130	+96	+205	+301	—
	環境・エンジニアリング	782	1,153	1,935	859	1,221	2,080	+77	+68	+145	—
	ライフサイエンス	247	283	530	251	269	520	+4	-14	-10	—
	その他	63	82	146	70	80	150	+7	-3	+4	—
	合計	8,561	10,275	18,836	10,630	11,670	22,300	+2,069	+1,395	+3,464	+100
事業利益	繊維	158	208	366	243	217	460	+85	+9	+94	-30
	機能化成品	241	429	670	522	378	900	+282	-52	+230	+10
	炭素繊維複合材料	▲ 3	▲ 72	▲ 75	▲ 36	26	▲ 10	-33	+98	+65	+10
	環境・エンジニアリング	40	106	145	61	109	170	+21	+4	+25	—
	ライフサイエンス	8	5	13	11	▲ 1	10	+3	-6	-3	—
	その他	6	24	29	7	13	20	+2	-11	-9	—
	調整額	▲ 109	▲ 137	▲ 246	▲ 107	▲ 143	▲ 250	+1	-6	-4	+10
	合計	341	562	903	702	598	1,300	+361	+37	+397	—

*前回見通しとの差異: 2021年11月9日公表値との差異

セグメント別事業利益の前回見通しとの差異

セグメント	通期事業利益(億円) 前回見通し*→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	490→460 (-30)	<ul style="list-style-type: none"> ・原燃料価格および物流費高騰の影響を受ける見込み。 ・産業用途は、エアバッグ用基布等の自動車関連用途が半導体不足による自動車減産の影響を受ける見込み。
機能化成品	890→900 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂事業では、ABS樹脂は、スプレッドが前回見通しよりも堅調に推移する見込み。 ・ケミカル事業では、基礎原料の市況やファインケミカル製品の販売が堅調に推移する見込み。
炭素繊維 複合材料	▲20→▲10 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減に加え、価格転嫁を推進。
環境・ エンジニアリング	170→170 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回見通し通り。
ライフサイエンス	10→10 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回見通し通り。
その他	20→20 (±0)	
調整額	▲260→▲250 (+10)	*前回見通しとの差異:2021年11月9日公表値との差異
合計	1,300→1,300 (±0)	

III. 參考資料

セグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
繊維	1,450	1,852	2,061	1,829	7,192	1,842	2,174	2,301
機能化成品	1,556	1,717	1,926	2,005	7,204	2,226	2,219	2,336
炭素繊維複合材料	454	439	456	479	1,829	485	504	542
環境・エンジニアリング	372	410	464	689	1,935	437	422	487
ライフサイエンス	116	131	137	146	530	115	136	135
その他	29	34	37	45	146	32	38	38
合計	3,976	4,584	5,081	5,194	18,836	5,137	5,493	5,839

セグメント別四半期事業利益推移

億円

	21年3月期					22年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
繊維	72	86	122	86	366	118	126	111
機能化成品	81	160	236	193	670	279	243	224
炭素繊維複合材料	17	▲ 20	▲ 34	▲ 38	▲ 75	▲ 21	▲ 16	17
環境・エンジニアリング	8	32	40	65	145	34	27	48
ライフサイエンス	1	8	9	▲ 5	13	2	9	5
その他	1	4	12	12	29	2	5	8
調整額	▲ 55	▲ 53	▲ 56	▲ 81	▲ 246	▲ 53	▲ 54	▲ 55
合計	125	216	329	233	903	361	341	358

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
樹脂・ケミカル	597	719	872	904	3,092	1,045	1,044	1,101
フィルム	694	751	785	801	3,031	832	831	841
電子情報材料	146	176	176	180	678	193	192	194
商事他	877	868	1,045	1,103	3,893	1,286	1,247	1,393
修正	▲ 757	▲ 797	▲ 952	▲ 983	▲ 3,489	▲ 1,131	▲ 1,095	▲ 1,192
合計	1,556	1,717	1,926	2,005	7,204	2,226	2,219	2,336

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	21年3月期					22年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
航空宇宙	174	161	148	116	600	95	106	110
スポーツ	32	37	41	46	155	61	62	73
一般産業	249	241	267	317	1,074	329	336	359
合計	454	439	456	479	1,829	485	504	542

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

		21年3月期					22年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		1,111	1,227	1,413	1,244	4,995	1,292	1,441	1,600
東レエンジニアリング		175	201	244	417	1,037	223	187	217
東レ建設		55	97	131	118	400	73	94	115
東レフィルム加工		93	85	92	89	359	93	95	101
在東南アジア・ 子会社	繊維	187	236	275	302	1,000	299	316	332
	機能化成品	154	205	246	268	872	322	312	316
	その他	0	0	0	0	1	2	1	1
	計	341	441	522	570	1,874	623	629	649
在中国・ 子会社	繊維	401	561	611	411	1,984	556	689	630
	機能化成品	189	212	251	249	901	294	304	332
	その他	90	89	98	77	354	99	95	126
	計	680	862	961	737	3,239	949	1,088	1,088
在韩国・ 子会社	繊維	182	194	199	222	796	231	236	274
	機能化成品	312	371	398	393	1,474	395	379	396
	その他	50	52	59	67	227	80	77	101
	計	543	617	656	681	2,497	706	692	771

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

	21年3月期					22年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	
東レインターナショナル	19	33	33	25	109	27	33	35	
東レエンジニアリング	▲ 6	▲ 0	13	35	41	11	0	12	
東レ建設	▲ 4	7	7	1	11	▲ 1	3	3	
東レフィルム加工	8	10	11	12	41	10	8	11	
在東南アジア・ 子会社	繊維	▲ 12	▲ 7	▲ 7	4	▲ 23	3	8	1
	機能化成品	14	42	63	64	183	73	53	41
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	35	56	67	160	76	61	42
在中国・ 子会社	繊維	49	50	45	24	168	48	57	38
	機能化成品	10	10	15	15	50	16	18	23
	その他	8	8	9	5	31	8	9	12
	計	67	68	69	45	249	72	85	72
在韩国・ 子会社	繊維	28	24	16	1	68	16	9	10
	機能化成品	45	58	56	37	195	54	47	33
	その他	8	7	6	7	29	9	10	13
	計	81	89	77	45	292	79	66	56

ESGに関する社外からの評価

■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2022年2月

Sustainability Yearbook
Member 2022

S&P Global

■ CDP

2021年12月



Water Security: A
Climate Change: B

■ MSCI

2021年9月

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA AAA

■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

Member of

Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

2021年11月

「Dow Jones Sustainability
Index(DJSI)」のAsia Pacific

2021 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2021年9月

「MSCI ESG Leaders Indexes」



FTSE4Good

2021年6月

「FTSE4Good Index Series」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry

